



南向きのカウンター席は縁側だったところを改修した一等席



門から入口までのアプローチが素敵

妙義山麓に眠るお宝に 息を吹き込み、人を呼び込む

西尾祐諄^{ひろし}さん

妙義山を仰ぎ見る里山の風景に溶け込む珈琲焙煎所『月とゆづつ』と古民家カフェ『桑庵』。店主の西尾祐諄さんは都内で不動産業を営み、中古物件を再生しカフェやシェアハウスなどのプロデュースを多数手がけてきました。そして、還暦を機に自分のためにやりたかった古民家再生とスペシャルティコーヒー豆の焙煎に本腰をいれようと、築140年の養蚕農家と妙義山を望む里山に一目ぼれし、2019年に妙義町に移住しました。

農業用倉庫を地域の人たちの協力を得ながらリノベーションし、珈琲焙煎所を2020年5月にオープン。煙が出たりするため都会ではかなわなかった珈琲焙煎業を本格的に始めることができました。併せて母屋のリノベーションを進め、2022年5月にカフェも開店しました。

経年変化した風合いのある梁や

柱。ガラス戸や障子、欄間など現代建築には見られない細やかな細工のある建具など、古民家ならではの味わいに癒されます。自家焙煎の上質なスペシャルティコーヒーをネルドリップで抽出し、まろやかで香り豊かなコーヒーが味わえます。庭先で平飼いの鶏の卵を使った自家製スイーツも好評です。

また、店内にはクラフト作家の作品などを置いたギャラリーや多目的ルームなども併設。講師を呼んで、味噌づくりやろうそく作りなどワークショップも適宜開催。

さらに、マルシェの企画運営も手がけ、妙義ビクターセンター・芝生広場で開催される『妙義ふるさとマルシェ』は、西尾さんが中心となって取り組み、自家焙煎のコーヒーを提供するキッチンカーも出店します。

高齢化と過疎化が進む里山に、西尾さんが新しい風を入れ、地域に変化が生まれました。「遠くからわざわざ



店主の西尾祐諄（ひろし）さん

ざ足を運んでくださるお客様。リノベーションを手伝ってもらったり野菜を分けてもらったりする近所の人たち。ワークショップの開催や作品の展示でカフェを盛り立ててくれる講師や作家の方々に感謝です」と話す西尾さん。アイデアマンで実行力のある西尾さんのローカルライフに衆目が集まります。

■珈琲焙煎所『月とゆづつ』

■古民家カフェ『桑庵』

営業：水曜日～日曜日 11:00-17:00

定休日：月曜日、火曜日、第3金曜日

住所：〒379-0202 群馬県富岡市妙義町大牛113

TEL：0274-67-7880



「妙義山」、「月」、「ゆづつ（宵の明星を表す古語）」を描いたロゴマークが目印

個性豊かなキッチンカーの人々

食に対する好奇心の高まりもあって、多種多様なフードやドリンクを手軽に楽しむことができるキッチンカーが人気です。フェスティバルやマルシェなど野外イベントの増加や、コロナ禍にあってはアウトドア形態で密を避けられる販売手段として、需要のある所に気軽に移動できるキッチンカーの利便性が歓迎されました。さらに、SNSやスマホを使った電子決済、位置情報サービスなど、テクノロジーの進化もビジネスを後押ししています。

この誌面では、キッチンカーを運営する4名の方々をクローズアップし、地域での様々な取り組みを紹介します。「人が好き」「状況に応じた変化に挑み楽しめる」など共通する姿が浮かびあがってきます。



羽鳥 妙さん

チャレンジングスペースを通して スタートアップを支援

主に前橋・高崎・渋川・玉村エリアで開催されるマルシェ等でキッチンカー『oimocafe』を出店する羽鳥妙さん。つぼ焼きのさつま



飲食店限定のレンタルスペース『CAFE&LABO めでいる』

芋を使った大学芋が看板メニューです。つぼ焼きした柔らかいさつま芋を揚げて大学芋にすると、外側はカリカリで中はネっとり。その新食感が格別で、お客様にも大好評！様々なイベントに出店しながら、マルシェの企画・運営も行うようになりました。

一方で、カフェも経営しながら、飲食店経営に乗り出した人たちのスタートアップを支援するレンタルスペース『CAFE & LABO めでいる』も運営。倉庫になっていた建物を活用して、2020年4月にオープンしました。誕生したての飲食店が地元の前橋市櫛島（ぬでしま）町で芽を出し、他の土地に移ってもしっかりと根を張り商売を継続していく姿をイメージして命名しました。飲食店限定で曜日によってチャレンジする店舗が入れ替わり、チャレンジ開始から3年で卒業するというシ



羽鳥妙さん(左)とビジネスパートナーの上原義徳さん

ステムです。すでに卒業生も輩出しています。

自身のカフェ経営の経験から得た知識やノウハウを、同じような問題に直面するスタートアップの人たちに惜しみなく提供しながら、資金や税金に関する学びの機会なども設けています。

「キッチンカーを始めるようになって、同業者とつながることが多くなりました。情報交換やアドバイス、励ましの言葉を掛け合うなど連帯感を深めています」と話す羽鳥さん。つぼ焼き芋のおいしさと可能性を伝えてくれた整体師の上原義徳さんは頼りになる相棒で、人との出会いが前に進む原動力になっています。2025年4月には新たな拠点として高崎市菅谷町に、「何かを始めたい」と思っている人のチャレンジングスペース」を開業します。そこには「レンタルサロン」や「お菓子や

馬場俊人さん

飲食業と宿泊業で 富岡のもてなし力の向上に尽力



◀レストラン以外にケータリングやお弁当の要望にも対応

▼ピザ窯に乗ったキッチンカーで焼き立てを提供

富岡製糸場周辺は昔ながらの街並みが残り、商店や飲食店が軒を連ねる路地裏に格別の情緒があります。中でもレストラン「IL PINO」が面している生活道は道幅1・65mという狭さですが、明治中頃の史料には県道と記されていて興味をひかれます。隣にある小さな広場をテラス席として利用できペットの同伴も可能。製糸場の工女や芸姑が行き交う姿が偲ばれる懐かしい隠れ家のような空間が魅力です。

店主の馬場俊人さんは、郊外の路面店で2年ほどレストランを営んだ後、2015年に現在の場所に店舗を移動しました。そして、コロナ禍以降、テイクアウトメニューや弁当の充実なども図りながら、ケータリングやイベント出店のためにキッチンカーを導入しました。富岡製糸場でのレセプションパーティーや地元の人たちの同窓会、常連さんの家族パーティーなど様々なシーンで、イ



オーナーシェフの馬場俊人さん

タリア料理や肉料理、コース料理などを要望に合わせて提供します。

また、富岡市内で開催されるマルシェなどにピザ窯を設備したキッチンカーで出店し、焼き立てのピザを販売。今後は専門店で学んだ経験を活かしジェラートも提供します。

キッチンカーでの出店を機に人とのつながりが増えた馬場さんは、富岡の街への愛着も深まり、リノベリングの教室で空き家物件の活用を学ぶようになりました。そして、町ぐるみで宿泊客をもてなす「まちやど」の活動に共感し、仲間と町のお宿「簇屋（まぶしや）」を創業。IL PINOはフロント機能を担う他、宿泊客の飲食のニーズにも応えています。

「富岡製糸場を目当ての旅行客はもちろん、外部から来られる行政関係の人、オーバートーリズムで軽井沢に宿泊できなかった外国の方々等の利用があります。富岡はゴルフ場も充実していて、数日滞在して楽し



■IL.PINO (イル・ピーノ)

住 所：富岡市富岡1041 TEL：0274-63-0633 営業：11:30-14:00 18:00-00:00
定休日：月曜日（それ以外にも臨時休業多々あり）



町のお宿 簇屋(MABUSHI-ya)

お惣菜のシェアキッチン」「レンタルカフェ」を設備し、必要な機能をレンタルで利用できる環境を整えています。



看板メニューの熟成つぼ焼き芋を使った大学芋



- 熟成つぼ焼き芋を使ったスイーツキッチンカー「oimo cafe」
- 飲食店限定レンタルスペース「CAFE & LABO めでいる」 前橋市櫛島町155
- チャレンジングスペース 高崎市菅谷町20-328

みたいという外国の方もいました」と話します。稼働率をもっと上げたいところですが、世界遺産登録に沸き立った時期をピークに観光客が減少し、町の元気がしぼんでいます。それでも馬場さんは、夕食や飲酒を楽しむにレストランにやってくる地域の人たち、共に働くスタッフやここで暮らす家族を想い、魅力あるおもてなしの場の確保に努めています。



event
1

梅の里を満喫する秋間梅林祭 2/15(土)～3月下旬

秋間梅林マルシェ

2/22(土)～3/16(日) 土日祝日開催



イベント詳細は
QRコードから



秋間梅林はぐんま三大梅林のひとつで、観光梅林として60年を超える歴史があります。広大な丘陵に開花期はあたり一面に紅白梅が咲き誇り、春の香りに包まれた園内を歩くことができます。

秋間梅林祭を2月中旬から3月末にかけて開催し、群馬の文化である「かか天下」を象徴する農家のお母さんたちが笑顔で営業する売店が8軒開店し、地元のごはんやおやつを味わうことができます。

他にも三味線や尺八、和太鼓の演奏、野点など観梅にぴったりな企画が目白押しです。

期間中の週末には、キッチンカーや物販、ワークショップなどが出店して会場を盛り上げる「秋間梅林マルシェ」が開催されます。

秋間梅林祭イベントスケジュール

2/23(日)	あきまくるくる 10時～15時(休憩所)
2/24(月・祝)	ひまわり楽団(群馬県警OB音楽隊)演奏・警察車両展示 10時半～(頂上付近)
3/1(土)	開花祭・和太鼓演奏・三味線演奏・マジック・野点など 10時～(頂上周辺)
3/7(金)～9(日)	安中市物産販売・南房総市物産販売(8日のみ)、自性寺焼陶芸体験 9時～15時(休憩所)
3/8(土)	尺八演奏 11時～(頂上付近)
3/9(日)	新島学園管弦管楽アンサンブル部 11時～・13時～(頂上周辺) ラリー車に会いに行こう 10時～16時(観梅公園)
3/16(日)	安中総合学園高校和太鼓演奏 11時～・15時～(頂上周辺)

ライトアップ日程
2/21(金)～3/15(土) 18時～20時
※金曜・土曜のみ
頂上周辺



パキスタンドッグ。店内ではサラダとポテトのセットメニューもあります



南牧村役場付近の主要道路沿いに建つ『Big Mom』は、外壁面に大きく貼られたホットドックの写真が目印。店内には、店主の増田美奈子さんの好みのオールドアメリカな雰囲気広がっています。

シングルマザーとなり、8年前にひとり息子を育てながら働ける場所を求めて南牧村へ移住しました。住宅や働き口を用意し移住を後押ししてくれた村への感謝は尽きません。

今では店舗での営業を中心に、下仁田や南牧、その周辺地域で開催されるイベントなどにキッチンカーで出店。店内ではパキスタンドッグやあんバター、揚げパンなど自家製こつぱんのアレレンジメニュー20種以上と、ビビンバ、ガパオライス、パキスタンカレーなどアジアの多国籍ごはんメニューをメインに提供しています。そのほとんどがテイクアウトOKで、来店客の9割近くを占

める地元の人たちの多くがテイクアウトでの利用です。

また、予約なしで気軽にお酒を飲める場所としても地域に浸透しています。

「私は運がいい」というのが増田さんの口癖です。例えば、子育て中の気分転換に韓国料理とパン作りの教室に通った経験が今の生業(なりわい)につながったこと。そして、開業するにあたり南牧村で客足が見込めるかどうか不安もあってキッチンカー営業に力を入れようと、最初から車を用意したこと。不幸にもコロナ禍となり店舗での営業が困難になりましたが、キッチンカーで営業を続けることができました。

また、スパイスの効いたごはんやこつぱんメニューは、地元のシニアにも大好評。増田さんは、提供するメニューの選択が良かったと、運のよさを実感しています。



移住8年目、南牧村に溶け込む増田美奈子さん



■Big Mom (ビッグママ)

住 所：甘楽郡南牧村大日向1102-1 TEL:050-3188-6500
営 業：11:00～20:00 L.O 21:00閉店
定休日：木曜



そして、最高に運がいいのは、「息子がお母さんの子どもで運がいいと言いつつ、キッチンカーでは隣に立って一生懸命サポートしてくれます」と、自慢の息子に恵まれたこと。

「私は運がいいと思いつつ、大抵のことは乗り切れます」と話す増田さん。店名の『Big Mom』から、強い母であろうとする増田さんの決意が伝わってきます。

増田美奈子さん

南牧村に移住し
運を味方に飲食業にチャレンジ



event

3

けんしんようKIDSスポーツ大会

ドッジボール&サッカー

主催：群馬県信用組合

4/6(日) 安中しんくみスポーツセンター



群馬県信用組合が「安中しんくみスポーツセンター」の命名権を取得し2年目となります。社会貢献をモットーに体育館を年4回利用できるという特権を、地域の少年スポーツ発展のために使い、キッズを対象にしたスポーツ大会を開催します。

種目はドッジボールとサッカー。どちらも小学生に人気の球技で、安中市をはじめ近隣の地域では複数のチームが活発に活動しています。

当日は午前10時よりイベント広場にて春の全国交通安全運動の取り組みとして、安中市交通対策協議会が主催する出動式が行われ、バトカーや白バイの展示を予定しています。

また、スポーツセンター前の桜も見頃を迎えキッチンカーも出店しますので、スポーツに興味のあるキッズのみならず、ぜひこの機会にご家族と一緒に見学してみませんか。

●サッカー

参加対象チーム

碓氷・安中、甘楽・富岡、高崎市内小学生チーム 10チーム予定
運営協力
FC碓東ジュニア(代表 野崎聡氏)

●ドッジボール

参加対象チーム

安中・富岡・高崎 その他小学生チーム 13チーム予定
運営協力
磯部KIDS(代表 佐藤行彦氏)

満開の桜も見頃です！



event

2

地元の飲食店やキッチンカーが30店舗以上出店!!

妙義ふるさとマルシェ

屋外ライブ 同時開催

3/16(日) 10時～15時 富岡市妙義ビジターセンター・芝生広場



カフェのメニューは季節によって異なります。

視界いっぱい妙義山！の眺望を独り占めできる唯一のカフェといえば、「妙義ビジターセンター」1階にある『山カフェ妙義』。富岡クレープや群馬の地元食材で作るピザやパスタ、妙義の珈琲焙煎所「月とゆふづつ」の豆を使ったオリジナルコーヒーなどが評判。天気が良い日はテラス席もおススメで、ここならベットの同伴も可能です。

山カフェ妙義

妙義ビジターセンター1階
営業時間：11時～16時(冬季15時まで)

妙義山を構成する白雲山の標高(1104m)にちなんで11月4日は「妙義山の日」。『妙義ふるさとマルシェ』が開催され、芝生広場にフードやドリンク、地場産の農産物、手作り雑貨、ワークシヨップなどの店が並び、お祭り気分を盛り上げます。マルシェは不定期で開催され、次の開催は3月16日(日)！

この機会に妙義ビジターセンターならではの様々な展示を通して、妙義山の知識を深めてみてはいかがでしょうか？



妙義ビジターセンター

住所：富岡市妙義町妙義1-5 電話：0274-73-2585
開館：9時～17時(最終入館16時30分)
休館日：月曜(月曜が祝日の場合は翌日)
入場無料

妙義ビジターセンターは、妙義山周辺の観光・自然・歴史・文化・芸術に加え、登山に関する情報を幅広く発信する施設。1923年に妙義山が名勝指定されてから100周年を迎えた2023年8月にオープンしました。桜や紅葉の季節の週末は、一日の来場者が1500人以上を数えることもあります。

施設の目玉は、4メートル四方の妙義山一帯の立体模型。プロジェクションマッピングで、四季・地質・成り立ち・歴史・登山道などテーマにした情報を映し出します。また、VR(バーチャルリアリティ)で楽しむ登山体験もおススメ。頂上から俯瞰する雄大な景色は思わず息をのむほどです。